

紫外線照射と高温蒸気の殺菌効果 による衣料等への衛生管理の提供



背景・目的

近年、食品加工場（食肉・魚類）、医療・介護施設等に於けるクリーニングの現状として、

- ①ユニフォーム洗浄需要が増大
- ②自主衛生管理の強化、徹底推進
- ③洗浄による除菌のみでは完全ではなく、更なる衛生面への期待

等の傾向と課題がある。年々安全衛生クリーニングへの需要が高まっているが、当社は、軟水を使

用した洗浄で除菌効果を高め、更に紫外線照射と高温蒸気による殺菌効果を付与することにより、顧客の要望に合った高品質でより高い安全衛生的なサービスを提供している。

また昨今、新型インフルエンザ、ノロウイルスによる胃腸炎など感染症が社会問題となることもあり、クリーニング業に於ける公衆衛生に対する意識の向上も求められている。

実施内容

本事業では、食品・医療関係に携わるユニフォームに付着したウイルスや細菌類を殺菌するため、従来の除菌方法に加え、紫外線照射と高温蒸気による殺菌が可能な新規設備を導入した。機械が入る前の殺菌方法としては洗う温度と乾燥を高温でする方法で、60度から70度で洗うと大体の菌は死滅する。洗い方の一例として白衣の場合は、70度前後のお湯で洗剤・薬品等々入れてアルカリ性に変え、10分間の洗浄ののち、すすぎ3回から4回ほど。あまり高回転だとしわが伸びないので中回転ほどで脱水をかける。吸水率を50%くらいにして新しい機械に通すと135度くらいの高温の蒸気のトンネルを通り、より一層の殺菌ができる。導入した機械は自然に乾いて、しわもきれいに伸び、一番最後に紫外線を照射して仕上がりになる。

成 果

医療関係・食品加工場、食品衛生関係、医療関係・介護施設、薬局等のユニフォームのクリーニングの需要が増えた。今までも十分に対応できていたと思うが、さらに紫外線の照射をすることにより今まで以上に滅菌・殺菌が可能になった。

導入した設備はドイツ製で、機械そのものが日本製にはない仕組みで非常に優秀な機械である。

食品の加工場で HACCP やコープの製品を作るときにユニフォームを自宅に持って帰って洗濯していると、衛生管理の資格を取ることができない。食品メーカーが食品衛生ということを非常に重要視しているので、ユニフォームをレンタルというのがとても増えた。そして使用したものをクリーニングに出してきれいにするということが当たり前になってきている。

ユニフォーム屋がリースをして週に数回クリーニングに出したり、またコンビニのユニフォームや介護施設のユニフォーム等も非常に増えたので、今後もさらに需要が高まると思われる。

クリーニング師

クリーニング師は国家資格です。各県ごとに受験、知事名で合格証が出ます。公衆衛生や薬品・薬剤など4科目あり実地試験もあります。クリーニング店を開設するときは保健所の認可を受けるために必ず一人以上いないといけません。今のクリーニング師の実地試験はワイシャツですが、昔はハンカチで、その前は足袋でした。非常に難しかったことを覚えています。当社のクリーニング師は十数人います。



代表取締役社長 山本 富士子



太洋舎商事 株式会社

代表者 / 代表取締役社長 山本 富士子

創 立 / 昭和 38 年 3 月

資本金 / 1,000 万円

従業員数 / 55 名 (パート含)

〒033-0011

青森県三沢市幸町 3 丁目 21-29

TEL 0176-53-3248 FAX 0176-53-3641

〈事業内容〉 1. リネンサプライ、2. ホームクリーニング、3. 防炎加工指定工場（綿及びポリエステル製品の二次加工）、4. インテリアクリーニング（ジュタン・カーテン・寝装品）、5. 特殊クリーニング（和服・皮革製品等）、6. 洗濯・衛生・清掃用品の販売をしている。

【今後の展望】

IoT を活用し、産業用ユニフォームに業務用洗濯に対応した「ICタグ」を取り付けることで、ユニフォームの所在管理や数量管理などを簡便に行うシステムを導入したいです。山盛りの集荷してきたばかりの洗濯物を、まとめて読み取り、仕上がった物が自動で配送先ごとに分けられるというのが理想です。ユニフォームを短時間で管理ができるようになることで、新入社員や高齢者でもミスがなく業務がしやすく安全に衛生的な環境で働けるように、工場全体の環境整備を整えていこうと思います。

また、技能実習生の受け入れを予定しており、工場を改装・改築を行い、日本リネンサプライ協会の衛生基準認定を取得しました。

今後は子育てとの両立を希望する女性従業員の就労時間帯を支援し、従業員教育や研修を充実させていきたいと思っています。